

## ● 社会活動状況 ● 2016.1.1～12.31

2016.12.14

宮崎県獣医師会理事会・役員会◆

場所：畜産会館(宮崎市) 参加者 約 30 名

内容：狂犬病予防その他について

2016.12.8-9

PED セミナー◆

場所 ①ニューウェルティ宮崎(宮崎市)参加者 61 名

②リカティかのや(鹿屋市) 参加者 18 名

内容：



2016.12.6

養豚場調査◆

場所：民間養豚場(新富町) 参加者 5 名

内容：離乳後下痢症予防的治療について

2016.12.1

養豚場調査◆

場所：民間養豚場(日南市) 参加者 3 名

内容：離乳後下痢症予防的治療について

2016.11.29

◆平成 28 年度野生獣衛生体制整備緊急対策事業に係る現地調査◆

場所：兵庫県畜産協会(神戸市) 参加者 4 名

兵庫県森林動物研究センター(丹波市) 参加者 7 名

丹波姫もみじ獣肉処理施設(丹波市) 参加者 7 名

内容：野生動物と家畜の共通感染症について

2016.11.28

◆香川県平成 28 年度地域自衛防疫体制推進事業◆

場所：獣医師会館(高松市) 参加者 約 50 名

内容：宮崎県で発生した口蹄疫防疫対策について

2016.11.25

◆養豚シンポジウム◆

場所：品川プリンスホテル(東京) 参加者約 60 名

内容：野薬剤耐性菌を増やさない守りと攻めの衛生対策

2016.11.17

◆平成 28 年度長崎県家畜保健衛生業績発表会◆

開催場所：長崎市市民プラザホール(長崎市) 参加者 約 80 名

内容：平成 28 年度長崎県家畜保健衛生所業績発表会審査

2016.11.11

◆畜産セミナー◆

開催場所: JAL シティ(東京) 参加者 約 60 名

講演内容: プロバイオティクスの活用

2016.11.9

◆平成 28 年度宮崎県家畜保健衛生業績発表会◆

開催場所: 宮崎県総合農業試験場(宮崎市) 参加者 約 80 名

内容: 平成 28 年度宮崎県家畜保健衛生所業績発表会審査

2016.11.5

◆養豚場調査◆

場所: 民間養豚場(新富町) 参加者 5 名

内容: 離乳後下痢症予防的治療について

2016.11.2

◆養豚場調査◆

場所: 民間養豚場(新富町) 参加者 5 名

内容: 離乳後下痢症予防的治療について

2016.10.31

◆平成 28 年度野生獣衛生体制整備緊急対策事業説明会◆

場所: マリンパレスかごしま(鹿児島市) 参加者約 40 名

内容: 野生動物と家畜の共通感染症

2016.10.28-29

◆第 71 回日本豚病臨床研究会大会◆

場所: 明治ホールディングス(東京) 参加者約 40 名

特別講演「海外悪性伝染病の現状と国内侵入の危険性」

2016.10.21

◆アニマルウェルフェア・シンポジウム in 沖縄◆

開催場所: 琉球大学研究者交流施設・50 周年記念会館(沖縄) 参加者約 50 名

内容: わが国のアニマルウェルフェア(産業動物)の現状と今後を考える

2016.10.20

◆平成 28 年度宮崎県家畜防疫演習◆

開催場所: 宮崎県農業科学公園(川南町) 参加者 80 名

内容: 高病原性鳥インフルエンザが発生した場合の迅速な防疫措置の実施を目的実地演習



2016.10.19

◆国際獣疫事務局(OIE)による獣医組織能力(PVS)評価◆

場所: 宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者 7 名  
内容: 大学の概要等、特に獣医学教育に関する取組

2016.10.19

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催場所: 宮崎県総合農場試験場(宮崎市) 参加者 29 名

内容:  
阪本祐史 鶏舎内環境調査の取り組み事例  
土井 淳 野外事例(漿膜炎、壊死性腸炎、低血糖症)  
渡邊拓一郎 ワクチン飲水投与について一考察  
齋藤 岳 オリンピック食材調達基準、GAP、GGAP に関して  
中村賢司 会社紹介

2016.9.30

◆第 5 回 JASV 口蹄疫終息記念セミナー◆

場所: ニューウェルシティ宮崎(宮崎市) 出席者 153 名

内容: 近隣諸国の伝染病発生状況、米国における疾病防疫の最新知見、PRRS ウイルスに関する最新知見、宮崎県におけるオーエスキー病清浄化、猟犬のオー エスキー病集団発生例、宮崎県における牛白血病の清浄化対策、大規模農場での PED との闘い、農場 HACCP 取り組みによる期待される効果

2016.9.27

◆群馬県東部地域口蹄疫防疫演習◆

場所: 太田市学習文化センター(群馬県太田市) 出席者 145 名

内容: 口蹄疫~2010 年事例と海外の発生状況

2016.9.16

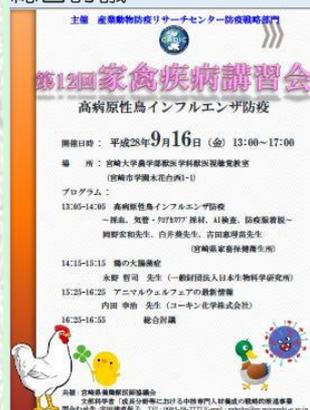
◆第 12 回家禽疾病講習会◆

開催場所: 宮崎大学 農学部(宮崎市) 参加者 計 71 名

企画内容:

- 高病原性鳥インフルエンザ防疫~採血、気管・加肋スワブ 採材、AI 検査、防疫服着脱~  
岡野宏和先生、白井葵先生、吉田恵理苗先生 (宮崎県家畜保健衛生所)
- 鶏の大腸菌症  
永野 哲司 先生 (一般財団法人日本生物科学研究所)
- アニマルウェルフェアの最新情報  
内田 幸治 先生 (コーキン化学株式会社)

総合討議



2016.8.25

◆平成 28 年度宮崎県家畜防疫研修会◆

場所: 宮崎市民プラザ (オルブライトホール) (宮崎市) 参加者 約 150 名

講演内容

1. 海外の家畜伝染病の発生状況と侵入防止対策
2. 農場巡回による畜舎消毒の検証

2016.8.23

◆The 6th International Symposium Livestock revolution in Asia -Risk and opportunity-◆

場所: 九州産業大学(福岡市)参加者 132 名

Session 1 Animal Health  
Session 1 Animal Production

2016.8.10

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催場所：宮崎県宮崎家畜保健衛生所(宮崎市) 参加者 39名

内容：

坂本英午 生ワクチン飲水投与時における水質管理の重要性と水質改善剤の応用

有吉理佳子 壊死性腸炎について

三崎雅子 高校生に対する職業選択サポート「養鶏獣医師の仕事」

恒吉守 ND 検査結果および IB ウイルス分離検査結果について

高橋啓二 エンドトキシンはエキソホルモンか？

2016.8.5

◆第18回宮崎県豚病研究会◆

場所：ひまわり荘(宮崎市) 出席者 29名

内容：

近況報告 全員(養豚関係、この1年間について)

事例等報告(敬称略):

1. 遠矢良平 指示書データを用いた抗生剤使用量の分析と農場での取組み
2. 志賀 明 顧客農場で発生した PCV2-d 型による PCVAD
3. 渡山恵子 都城のオーエスキー病清浄化に向けて
4. 岡林環樹 豚流行性下痢の多様性
5. 長尾和哉 分娩舎における SIV 常在化事例
6. 松川浩子 と畜場でみられた豚の急死事例

主催：宮崎県豚病研究会(会長 志賀 明)  
共催：文部科学省成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業

## 第18回宮崎県豚病研究会

日時：平成28年8月5日(金)13:00～17:00

場所：ホテル「ひまわり荘」

(宮崎市瀬頭2-4-5, Tel: 0985-24-5285)

(※会場が変更になりました。)

参加費：無料

※要予約：定員35名(先着順)

意見交換会：18:00～ 会費制(要事前申込)



連絡先：事務局 宮崎大学産業動物健康リサーチセンター 動物健康部門 末吉 眞雄  
〒880-0192 宮崎県宮崎市瀬頭1-1-1  
電話/FAX: 0985-56-7282 e-mail: ah202@oc.nyu.ac.jp



2016.7.29

◆第38回宮崎・鹿児島しゃくなげ会合同技術研修会◆

場所：宮崎観光ホテル(宮崎市) 出席者 155名

内容：黒毛和種牛の繁殖障害、治療および繁殖管理について

2016.7.28

◆第20回九州・山口・沖縄病理事例研修会◆

場所：農研機構動物衛生研究部門九州拠点(鹿児島市) 出席者 45名



講演内容：家畜のブラキスピラ症の病理(日本ブラキスピラ学会賞受賞)



2016.7.20

◆宮崎大学感染症危機管理研修会 ◆

開催場所：宮崎大学多目的ホール(宮崎市) 参加者 50名

企画内容：口蹄疫の教訓から生まれたチームビルディングのワーク やぐら鶴

講師 堀北哲也先生、柴田正志先生

宮崎大学感染症危機管理研修会  
やぐら鶴  
口蹄疫の教訓から生まれたチームビルディングのワーク

「やぐら鶴」は一人一人のチーム力を磨くコミュニケーションワークです。宮崎で口蹄疫が発生した際、防疫作業のため日本全国から獣医師等が集まってチームを作り活動しました。その際、見知らぬ人たちが集った場から生じたチームでは様々な課題が生じ、チームビルディングのトレーニングが必要であることを痛感しました。そこで、情報の共有、作業の分担、想定外の事態への対応、リーダーシップアプロウシップといったチーム活動に必要なスキルを学ぶツールとして「やぐら鶴」を考案しました。今回はこの「やぐら鶴」を通してチームコミュニケーションのスキルを深く修得学習を奨励します。

日時：2016年7月20日(水) 13~17時  
場所：宮崎大学 大学会館多目的ホール(南)  
講師：堀北哲也先生(日本大学 生物資源科学部)  
柴田正志先生(静岡県中部畜産保健衛生所)

要事前申込(〆切) 2016年7月6日  
※会場場所は別紙参照

参加申し込み お問い合わせ：  
宮崎大学農畜動物防疫センター(宮崎市学業木花台高1-1)  
Tel: 0985-587674, Fax: 0985-587674  
Email: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

主催：宮崎大学農畜動物防疫センター 防疫戦略部門  
共催：宮崎大学農学部獣医学科



レポート結果

2016.7.13

◆第2回畜舎用殺虫剤等の暴露評価法ガイドライン案検討会◆

開催場所：農林水産省動物医薬品検査所(東京) 参加者 16名

協議内容：

1. 第1回検討会における課題について
2. 畜舎用殺虫剤等の暴露評価法ガイドライン案2の検討

2016.7.13

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催場所：宮崎県宮崎家畜保健衛生所(宮崎市) 参加者 32名

内容：

- 中森健太郎 生薬栽培の取り組み
- 山崎 渉 肉用鶏農場におけるカンピロバクターおよびサルモネラの流行状況
- 井上 美如 世界の抗菌剤関連の動き
- 福井 和夫 暑熱時における静菌剤について

2016.7.7

◆養豚セミナー◆

開催場所：マロウドインターナショナルホテル成田(成田市) 参加者 50名

講演内容：

1.プロバイオティクスの活用

2.最近の疾病(PED)と対策

2016.7.6

◆養豚セミナー◆

開催場所: ホテルメトロポリタン盛岡(盛岡市) 参加者 50名

講演内容:

1.プロバイオティクスの活用

2.最近の疾病(PED)と対策

2016.6.22

◆豊橋市防疫対策協議会研修会◆

場所: 豊橋市役所(豊橋市) 参加者 76名

講演内容: 口蹄疫と高病原性鳥インフルエンザの教訓と防疫

2016.6.20

◆養豚国際フォーラム2016◆

場所: 都城市ウェルネス交流プラザ(都城市) 参加者 約300名

協議内容: これからの強い養豚の近未来について

2016.6.11

◆日韓獣疫学合同シンポジウム◆

場所: 東京大学農学部(東京) 参加者 約100名

協議内容: 韓国と日本における口蹄疫と高病原性鳥インフルエンザ疫学研究について

2016.6.8

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催場所: 宮崎県総合農場試験場(宮崎市) 参加者 38名

内容:

清武真 無投薬プログラムについて(海外文献紹介)

斉藤文俊 サルモネラワクチンについて

鳥取潤一 鶏舎環境診断について

内田幸治 抗菌性飼料添加物のMRLについて

2016.6.1

◆野生獣衛生体制整備緊急対策事業技術専門委員会・中央推進企画委員会◆

開催場所: 中央畜産会(東京) 参加者 12名

協議内容: 野生獣(シカとイノシシ)の家畜共通疾病状況調査経過について

2016.5.27

◆第88回日本豚病研究会◆

場所: 文部科学省研究交流センター(つくば市) 参加者 200名

協議内容: 畜産における耐性菌制御について

2016.5.25

◆豚流行性下痢(PED)まん延防止体制支援強化事業推進対策事業委員会◆

場所: 中央畜産会(東京) 参加者 16名

協議内容: 豚流行性下痢(PED)まん延防止体制について

2016.5.20

◆農学部-小林市連携研究課題協議◆

場所: 小林市役所(小林市) 参加者 15名

内容: 畜舎消毒の検証などについて

2016.5.14

◆第70回日本豚病臨床研究会◆

場所: 仙台サンプラザ(仙台市) 参加者 50名

協議内容: PED疫学調査 2期目のアンケート結果について

2016.4.28

◆宮崎県-宮崎大学畜産新生研究調整会議◆

開催場所: エアラインホテル(宮崎市) 参加者 39名

協議内容: 宮崎大学および宮崎県畜産試験場の研究成果について

2016.4.22

◆宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催場所：宮崎県総合農場試験場(宮崎市) 参加者 16名  
特別講演講師：宮崎大学農学部 獣医生理学講座 村上昇教授  
特別講演内容：鳥の摂食機構と生体リズム機構について

2016.4.19-20

◆第57回全国家畜保健衛生業績発表会◆

実施場所：銀座プロッサム中央会館(東京)  
協議内容：各都道府県家畜保健衛生所平成27年度活動報告について

2016.3.28

◆CADIC 防疫部門-JA 宮崎経済連協議◆

開催場所：宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者 4名  
内容：牛ウイルス性下痢症(BVD) 宮崎県内浸潤状況調査について

2016.3.16

◆農学部-小林市連携研究課題協議◆

開催場所：宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者 3名  
内容：畜舎消毒の検証について

2016.3.15

◆野生獣衛生体制整備緊急対策事業技術専門委員会・中央推進企画委員会◆

開催場所：中央畜産会(東京) 参加者 12名  
協議内容：野生獣(シカとイノシシ)の家畜共通疾病状況調査経過について

2016.3.7

◆豚流行性下痢(PED)まん延防止体制支援強化事業推進対策事業委員会◆

開催場所：中央畜産会(東京) 参加者 16名  
協議内容：豚流行性下痢(PED)まん延防止体制について

2016.2.26-28

◆平成27年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(秋田)◆

開催場所：にぎわい交流館AU(秋田市) 参加者 約60名  
内容：豚のウイルス性下痢症に対する効果的ワクチンの開発と応用外

2016.2.23

◆平成27年度野生獣衛生体制整備緊急対策事業地域衛生技術連絡協議会◆

開催場所：香川県獣医師会(高松市) 参加者 約20名  
内容：野生動物と家畜の共通感染症

2016.2.19-21

◆第6回宮崎県養豚従事者基礎研修会◆

開催場所：宮崎大学(宮崎市) 受講生 30名  
内容：豚の生理と解剖実習

2016.2.15

◆農林水産省とCADICとの意見交換会および施設見学会◆

開催場所：宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者 14名  
内容：最近の家畜衛生をめぐる情勢について

2016.1.29

◆宮崎大学産業動物防疫キャラバンセミナー(九州会場)◆

開催場所：鹿児島空港ホテル(霧島市)参加者 77名  
内容：『創・養・守・攻』の産業動物防疫戦略

[アンケート集計](#)

2016.1.22

◆宮崎大学産業動物防疫キャラバンセミナー(関東会場)◆

開催場所：東京八重洲ホール(東京) 参加者 90名  
内容：『創・養・守・攻』の産業動物防疫戦略

[アンケート集計](#)

2016.1.15

◆研究打合せおよび若松響工場視察会◆

開催場所：株式会社フジコー(北九州市)参加者 8名

内容：太陽光利用のエコ脱臭装置の養豚舎における環境保全に及ぼす有効性について

2016.1.14

◆平成27年度家畜伝染病等危機管理対策強化講習会(宮崎会場)◆

開催場所：JA・AZMホール(宮崎市)参加者 約40名

内容：家畜伝染病の病性と臨床診断について(口蹄疫、PED等の早期診断、防除対策)

2016.1.13

◆平成27年度岐阜県口蹄疫防疫演習◆

開催場所：にしみの農協(大垣市)参加者 約140名

内容：口蹄疫発生の教訓と防疫戦略

2016.1.12

◆防疫バッグ(クローズマックス)製品工場ライン視察会◆

開催場所：福井太陽株式会社(福井市)参加者 約20名

内容：①製造ライン/試験棟/納得館(製品ショールーム)視察、②世界の口蹄疫の現状～特にアジアについて～

2016.1.8

◆宮崎大学産業動物防疫セミナー(北海道会場)◆

開催場所：TKP札幌ビジネスセンター(札幌市)参加者 46名

内容：『創・養・守・攻』の産業動物防疫戦略

[アンケート集計結果](#)